

北本市議会議員

永井つかさ

活動報告VOL.14

27歳 無所属



2025年度の予算は約280億円となりました。2024年度はじめての予算が約244億円でしたので、約15%程度の伸びとなります。当初予算としては過去最大規模となります。予算の内訳としては円グラフの通りです。

歳出

・北本トマトカレーフェスティバル2025(予算:200万円、商工費)

11月15日(土)に実施予定です！会場は野外活動センターです。



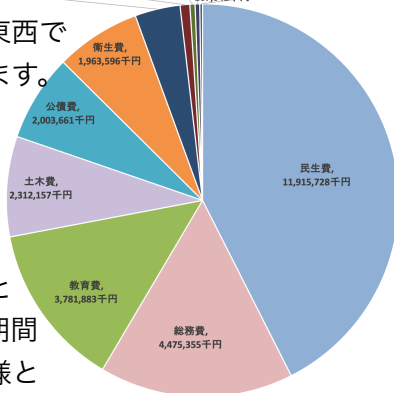
市内外の飲食店が集まるこのイベントは、本市だけでなく、全国のご当地カレーや北本市と関係・交流のある自治体の「食」を集めたイベントとして計画しております。私の経験上、食に特化したイベントは保健所がめちゃくちゃ厳しい(特にお米は腐りやすい)ので、本当に実施できるのか質問し、問題ないことが確認できました。

・ムクドリ対策(予算:89.1万円、土木費)

市民の皆様から最も多くご相談いただいておりますのが、ムクドリ対策についてです。駅前の樹木をめぐらとして、市内の色々なところに出現してしまうので、今までは枝を切ってムクドリが木にとまれないようにしておりました。しかしそれでは抜本的な解決ではありませんので、この度新規で予算計上されました。内容としては天敵の猛禽類であるフクロウの置物をおいたり、ムクドリの苦手な周波数を発生する装置を用意したり(これがかなり高額)、その後

の管理を業者に委託したり、といったものです。駅の東西で対策するため、予算感としては妥当なものとなっています。(状況を見て随時対応していくため、上記の全てをするというわけではありません。)

消費費	議会費	商工費	農林水産業費	その他
1,045,489千円	224,182千円	119,658千円	107,041千円	62,857千円



・東口駅前広場シェルター¹設置(2億440万円、土木費)²

東口シェルターは鉄骨造で、60年の耐用年数を持たせます。屋根材には耐久性の高いガラスを採用しており、複数枚のガラスを重ね、その間に遮光素材を挟む構造となっています。意匠性を特化させたものではなく、長期間の使用を前提とし、コストパフォーマンスに優れた仕様となっています。

*1.シェルター=避難所。雨からの避難、つまり屋根です *2.R7年度に2億440万円、R8年度に1億1360万円。

歳入

・市税

4億2千万円増加の見込み。主要因としては給与や年金の所得向上による住民税の増加や、工場の操業再開に伴う、法人市民税の増加を見込んでいるためです。

・市債

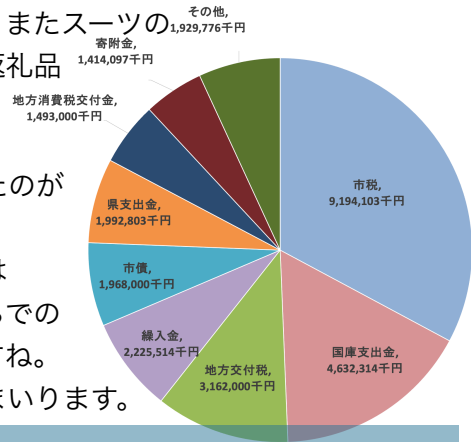
市債の発行額が、前年比約9億円増加しています。主に北本駅東西のシェルター工事(借入額:約2億)、市内全・小中学校体育館への空調設置(借入額:約10億円)が主な要因です。この12億円の借り入れのうち、**約7億5700万円**は国から充当されます。『借金(市債)が多いから財政運営が大変になってしまう!』ということではなく、もらえるお金も含めて総合的かつ長期的に勘案し問題ないと判断致しました。

・寄付金

寄附金収入が**1億円**増加する見込みです。いわゆる「ふるさと納税」が好調であることから、このような見込みで予算を編成しております。ふるさと納税の返礼品は、それ自体が地域における雇用の創出や新たな地域資源の発掘など、地域経済の活性化に寄与するものであることが必要です。本市には製菓工場があることから、同社の人気商品の詰め合わせセットがあります。またスーツの縫製工場があることから、スーツの仕立て券も返礼品として用いております。

(寄附額でいうと、これがダントツで高いです)

中でも私が返礼品で「これは面白い!」と思ったのが『人間ドック』です。初めて見たときは「どういうこと!?!」と思いましたが、本市には『北里大学メディカルセンター』があり、そちらでの健診となります。なるほど、確かに地域資源ですね。今後も歳入増加に向けて、議会で提案を続けてまいります。



永井つかさのプロフィール

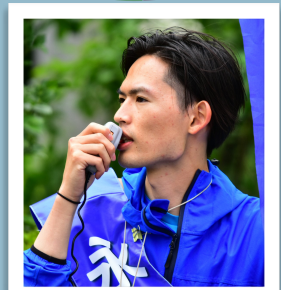
北本みなみ幼稚園卒園、東小学校卒業、東中学校卒業、さいたま市立大宮北高等学校卒業、日本大学法学部卒業、東証一部上場(現プライム市場)の建設会社にて3年間営業職として勤務。

R5.4月の市議会議員選挙にて1478名の方にご信託をいただき、25歳にて初当選(全国最年少、4位、新人トップ)。宅地建物取引士。些細なことでもお気軽にご連絡下さい!

発行者:永井司 北本市中丸2-234

090-3842-2413 tsukasa.nagai.kitamoto@gmail.com

2025年5月発行



お問い合わせフォームです↑